

台湾で高病原性鳥インフルエンザが多発しています！

<台湾における高病原性鳥インフルエンザ発生概要> 平成27年3月16日現在

発生地	台湾	発生日	H27.1～	発生件数	875件
動物種	鶏、あひる、がちょう				
血清型	H5N2、H5N3、H5N8亜型等				

**今春以降も渡り鳥により
本病ウイルスが国内に侵入するリスクが
非常に高くなっています！**

引き続き、飼養衛生管理基準遵守の徹底をお願いします！
特に防鳥ネット等を点検し、野鳥の侵入を防止しましょう。

以下のいずれかに該当する場合は、**必ず家畜保健衛生所に通報**してください

- (1) 鶏冠・肉垂等のチアノーゼ（紫色に変色）、沈うつや突然死など**高病原性鳥インフルエンザが疑われる個体を確認**した場合
- (2) 1鶏舎において、**1日の死亡羽数が過去21日間の平均死亡羽数と比較して、2倍以上となった場合**
- (3) 1鶏舎において、**5羽以上がまとまって死亡している、うずくまっている等、異常な状況が確認された場合**
- (4) **上記以外で本病が疑われ、異常が確認された場合**

お願い!!!

国内の養鶏農場において死亡率が急増したにもかかわらず県への届出が遅れた事例がありました。こうした行為は、万が一本病が発生した場合、発見の遅れにつながり、感染が拡大するおそれがあります。

鳥インフルエンザを早期に発見するために、特定の症状を発見した場合は必ず速やかに家保に連絡しましょう!!（家畜伝染病予防法第13条の2）

連絡先 : 山梨県東部家畜保健衛生所
平日 : 055-262-3166
夜間・休日 : 090-5544-7868 または 090-5535-8005

台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2015年1月～)



合計：875件※(農場・処理場・保留場)

血清型

- ・H5N2*
- ・H5N3
- ・H5N8
- ・H5N2/H5N8混合感染
- ・H5N2/H5N3混合感染
- ・H5**

※発生件数の血清型別の内訳は未確定

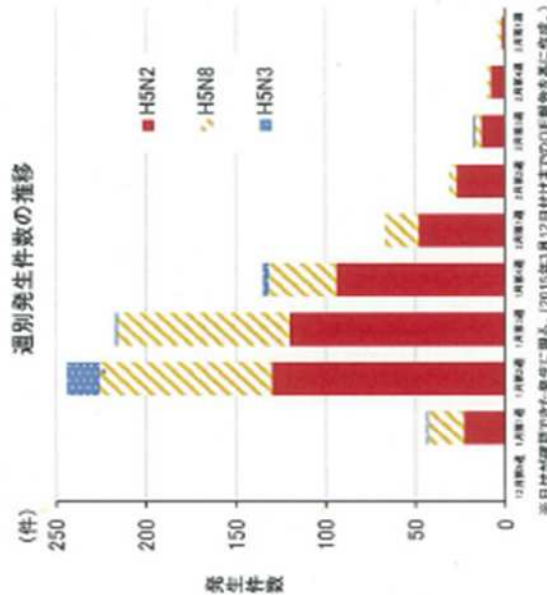
*過去に台湾で検出されたウイルスによる感染及び過去に台湾で検出されたウイルスとの混合感染を含む

**N型、病原性未確定

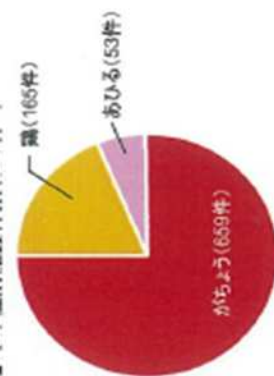
殺処分完了：873件(438万6,097羽)

○野鳥における検出(6件)

検出日	場所	亜型	鳥種
2/1	台南市七股区	H5	クロツラ ヘラサギ
1/30	台東県台東市	H5N2	ゴイサギ
1/19	屏東県長治郷	H5	ツグミ
1/18	苗栗県竹南鎮	H5N3	シロガシラ (3羽)



家きんの種別確認件数(877件*)



台湾における種別飼養状況

種	飼養戸数	飼養羽数(万羽)
鶺鴒	5,798	9,213
鶺鴒	2,816	962
鶺鴒	971	177

※2015年1月15日の台湾当局公表資料を基に作成

注：・本図のH5N2及びH5N3型ウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、これらウイルスのH5遺伝子は韓国H5N8型ウイルスのH5遺伝子と近縁。

・以下については、本図に記載していない。

①1月6日屏東県の探卵鶏農場で発生した従来型(1件)。

②発生農場の半径1km以内の家きん農場におけるサーベイランスの結果、26農場でH5亜型のウイルスを検出。

出典：台湾行政院農業委員会動物防疫檢疫局、OIE

2015年3月16日18時現在